



※それぞれの絵本ごとに1公演となります



3冊の絵本が音楽と出逢いステキなライブが生まれました  
本を“俳優とミュージシャン”で聴くライブ、キーク(キーク)

言葉が分からなくても、絵本に込めたメッセージを音楽に乗せてパフォーマンスで伝えられたら……。そんな思いから、始まったBookライブ「キーク」。壁に投影された映像の前で、出演者が時には歌や音楽で、時には朗読やセリフで、そして朗読や身体表現で、様々な形で3演目それぞれの絵本の世界をお届けいたします。美しいイラストが印象的な葉祥明の「森が海をつくる」。「世界中から愛され続けるレオ・レオニの代表作のひとつ」「ひとあし ひとあし」。そして話題の新作、とうじょうさん作「はじめて王国」～ソロコンサートはぜったいぜつめい～の3本。各絵本ごとに演出家を変えて、それぞれ約1時間のライブにいたしました。音楽監督を務めるのは、作曲家でジャズピアニストとしても活躍する、谷川賢作。3つの絵本、それぞれのカラーを活かした音楽を聞き手に伝えます。聴くことに、見る要素も加えた、登場人物たちが音楽に乗って本から飛び出してくるライブです。



絵・文＝葉 祥明 英訳＝リッキー ニノミヤ 構成・演出＝坂口阿紀  
**森が海をつくる FORESTS MAKE OCEANS** (自由国民社刊)

ジェイクは散歩とうたたねがだいすきな犬。いつものように浜辺でひなたぼっこをしていると、海がジェイクに話しかけます。「海には栄養豊かな美しい川が必要だったんだ。川の声を聞いておいで！」ジェイクは海から川そして池へ、自然の声をたどって走ります。「どうしたらもの美しい地球に戻せるのかな？」森に着いたジェイクは森の声を聞くのですが……。身近な環境問題を葉祥明の優しい言葉と、美しい絵で伝えます。

作＝レオ・レオニ 訳＝谷川俊太郎 構成・演出＝本藤起久子

**ひとあし ひとあし** (好社社刊)

なんでもはかれるしゃくとりむしのはなし

しゃくとり虫は、いろいろの鳥の寸法をはかってあげることができます。けれど、いじわるなナイチンゲールが現れて、しゃくとり虫に難題を出してきます。しゃくとり虫は、もちまへの知恵でどのように切り抜けるのでしょうか。レオ・レオニ作品を多数、翻訳している谷川俊太郎のお気に入りの一冊。レオ・レオニは「スイミー」「フレデリック」「アレクサンダとぜんまいねずみ」でカルデコット賞を受賞、世界中で愛され読み継がれています。



ぶん＝とうじょうさん え＝たちもとみちこ 構成・演出＝高橋正興

**はじめて王国1** ソロコンサートはぜったいぜつめい (小学館刊)

はじめて王国の王さまは「はじめてのこと」に挑戦するのが大好き。ある日、「ひとりであうたうソロコンサートをしたい」と言いました。ところが王さまには自分でも気づいていない、とんでもない秘密があって……。つぎつぎおこる、できごとやなぞにハラハラどきどき、読み終わった後は爽快感を感じられる1冊。原作のとうじょうさんは、謎の作家ユニット。彼らのことを知っている人はだれもいない。趣味は謎を解くこと。

